

タブレットを活用したパフォーマンス課題までの一連の活動と学習評価 (NEW HORIZON English Course3 Stage Activity2 Discover Japan)

①話・発

①統合

②個・学

②個・表

③タブ

【ここがポイント！】

「タブレット（録画機能）の効果的な利用」

相手意識を持って録画機能を用いることで、伝えるべきポイントを意識した上で、個々の生徒が納得するまで自己調整をしながらプレゼンテーション活動に取り組むことができる。

【実践の目標】

オーストラリアの姉妹校の生徒に、紹介したい日本文化についてビデオメッセージを送ることができる。

【実際の場面】

1. マッピング

小グループで海外の人に紹介したい日本の魅力は何（どこ）かアイデアを出し合った後全体で共有し、それを聞いて個々に自分が紹介したい日本文化についてポイントを絞るためにマッピングをした。

2. 作文活動

これまでに学習した文型を用いて、個別に自分が決めた伝えたい内容について作文し、写真などを準備した。



3. 英文の推敲と修正

小グループで互いに書いた英文の内容が伝わるか読み合い、アドバイスをした。アドバイスを受けて、詳しい説明を付け加えたり、話の流れを修正した。

4. プレゼンテーションの練習

ALT の意見なども参考にして、個々で発音や話す順番、写真の見せ方など工夫しながら練習をした。タブレットを用いて録画しながら修正した。

5. プレゼンテーションの録画

一人一人がそれぞれのタブレットを用いて自分のプレゼンテーションを録画した。また、録画したものをチェックし、納得がいくまで何度も撮り直した。

6. 動画の提出と評価

生徒が自分でいちばんパフォーマンスがよかったと思う動画を提出。動画については、指導者が評価を行った。

7. パフォーマンステスト

後日、ALT によるインタビューテストを行った。その会話の様子を録画し、指導者が評価した。

【成果と課題】

【成果】

- 録画機能を使用することで、生徒が自身の学びを振り返り、質の向上を求めて自己調整を図る姿が多く見られた。
- 自分なりの考えを持ち、相手意識を持たせてそれを表現させることができた。

【課題】

- 生徒が動画を時間内に修正、提出できるように支援する必要がある。
- 事後の課題として、海外とのやり取りにおいては、セキュリティの関係で直接メール等で動画を送ることができず、Web 上に限定公開という形で動画をあげるしかなかった。また、相手からの感想等の動画についても同様で、生徒が簡単に視聴することが難しかった。生徒へのフィードバックをするためにも、システム上の改善が必要だと感じた。

安芸太田町立安芸太田中学校

